



大麻中だより

令和 5年度 6号

9月12日(火)発行

文責 大麻中学校長

朝夕の風が心地よく、秋の気配を感じる季節となってきました。1学期後半は文化祭をはじめ、多くの学校行事があります。様々な経験を通じて人とつながり、貢献することで自己の幸福感の拡大や自己の成長につなげてもらいたいと思います。

【今月の言葉】 「雪だるま型人生観」

毎日、いろいろなことが起こり、自分にとって幸運の種となるようなこともあれば、悩みや心配の種となるようなことも起きます。マイナスの出来事が起これば、落ち込んだり、やる気をなくしたりすることはよくあることです。私たちの毎日は選択の連続で、現実をどう受け止めるかによって未来は大きく変わります。またその選択は、その人に任せられており、ある意味において人生の出来事は、自分で引き寄せている面もあります。

例えば、あるマイナスの事象に対し「最悪」と長く思い続けることで、悪い方へ展開することもあれば、「ピンチはチャンス」と気持ちを切りかえ前向きに行動にすることで、良い方へ展開することもあります。失敗や不運なことは、誰でも経験しますが、その人の考え方や心がけ次第で、あらゆる場面が成長の機会に変わります。あなたの考え方の傾向はどうでしょうか？自分の考え方の傾向を発見し、プラスに変えることは、自分の成長を支える力となります。

あるプロスポーツ選手のメンタルコーチは、人間の特性として、一つの出来事に対して同時に二つの考えを持つことはできないことと、感情は考え方によってコントロールできることの2点を選手に伝えるそうです。自分のマイナスの考えに対し、プラスの考えやプラスの言葉を繰り返す習慣を選手に身に付けてもらうことで、選手本来の力（潜在力）を引き出すようです。

どのような現実に出会うとも、そこから逃げないで、次につながるプラスの考え方（成功を導く種）や言葉を見つけ、転げるたびに大きくなる「雪だるま」のような心がけを持ちたいものです。

自分の心の曇り（失敗や不安、マイナスの出来事にとらわれる心）を取り除き、サッパリとした明るい気持ちを持とうと心がけて、淡々と努力を積み重ねることが自分を助けることになります。自分の明るい未来を信じて、明るい考えと明るい言葉で自分を応援していきましょう。

NHK 全国学校音楽コンクール 8. 21 (月)



藍住文化ホールで音楽コンクールが開催されました。6名の美しい歌声が会場いっぱいに響き渡りました。

応援に駆けつけていただいた保護者の皆さま、伴奏していただいた先生ありがとうございました。

◇9・10月 行事予定◇

9月13日(水) 修学旅行説明会 2年

9月14日(木) ~一学期末テストのため部活動休止

9月15日(金) 鳴門市英語弁論大会(二中)

9月19日(火) ~21(木) 一学期末期末テスト

9月23日(土) 郡市対抗陸上大会

10月4日(水) 3年 第一回基礎学力テスト

10月6日(金) 1学期終業式

10月10日(火) 2学期始業式

10月28日(土) 2年生登校日

10月30日(月) ~11月1日(水) 2年生 修学旅行

ふれあい除草作業 9月3日(日)

早朝より、除草作業にご協力いただきありがとうございました。今後も生徒の教育環境を整備するために除草作業等願います機会もあるかもしれませんが、ご理解ご協力よろしくをお願いいたします。

文化祭 9月8日(金)

文化祭実行委員会を中心に、生徒一人一人の手で作りに上げた素敵な文化祭となりました。

今年の文化祭は、コロナウイルス感染症が5類となり、模擬店や来賓・保護者の方をお招きしてのステージでの表現を再開することができました。未体験のことに挑戦するという意味で、いろいろな苦労もありましたが、生徒の主体的な取組がクラスや学年、学校の団結力となり、最後までやり切ることができました。来賓、保護者の皆さま、ご多用の中、ご観覧いただきましてありがとうございました。



【午前 ステージの様子】



【午後 模擬店の様子】



【人権劇の様子】

本校の伝統である人権劇は、今年で35周年を迎え、3年ぶりの舞台での上演となりました。識字学級生との交流で学んだことを題材とし、身近な家族に潜む差別意識について、自分事として考え、どう行動していくかが問われるメッセージ性の高い作品でした。

読書の秋

心地よい秋風が吹く夜の読書は、心が落ち着く素敵な時間です。たとえ15分であっても、気持ちや考えをリフレッシュする時間となります。また、偉人伝や小説等を読むことで心に力が湧いてきます。

昨年度、本校は読書活動の推進において文部科学省から表彰されました。

読書に親しむ生徒が多く、図書室で本を借りて読む生徒が大変多いです。

フランシスコ・ベーコン（イギリスの哲学者）は「知は力なり」という言葉を残しています。読書を通じて得た知識は、生活や学習（読解力）、仕事を支える力となります。この読書習慣は、その人を支える一生の宝物でもあります。

ご家庭においても読書習慣が定着できるようご協力よろしくをお願いいたします。

